

# ひたちなか市議会だより

明るい未来に願いを込めて  
版画で描く、自由な世界



もくじ

No. 113

令和3年1月25日

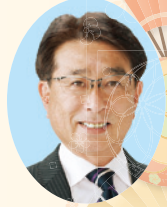
新年のごあいさつ	2
審議案件の紹介	2
一般質問	3
討論	8
請願・陳情、人事ほか	9
市民のこえほか	10

肌悩み  
100%解決  
第1位

# 新年のごあいさつ



議長  
鈴木 一成



副議長  
三瓶 武

明けましておめでとございます。市民の皆さまには、令和3年の新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃より市議会運営に對しまして多大なるご支援、ご理解を賜り深く感謝申し上げます。

さて、依然として新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていることから、昨年にも増してさまざまな感染症対策を展開していくことが求められております。私ども市議会におきましても、引き続き自らの感染防止の基本を徹底するとともに、「新しい生活様式」時代に対応して国が行うべき支援および市の通常施策も含めた対策の充実を求めて議論を重ねてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があり、予防により必ず防止できるものではありません。本市では感染された方への偏見や差別的取り扱いが起らないよう、皆さまの思いやりのお気持ちを大切にいただければ幸甚に存じます。

本年もなお一層のご支援ご協力をお願いいたしますとともに、できる限り早期に新型コロナウイルス感染症が収束し皆さまが安寧にお過ごしになられることと、そして、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

### ひたちなか市議会議員

井坂 涼子	大内 健寿	雨澤 正	樋之口 英嗣
萩原 健	弓削 仁一	三瓶 武	井坂 英
山形 由美子	大久保 清美	深谷 寿一	武藤 猛
宇田 貴子	鈴木 道生	海野 富男	打越 浩
山田 恵子	大内 聖仁	大谷 一隆	
北原 祐二	薄井 宏安	清水 立雄	
清水 健司	加藤 恭子		

(議席順)

市議会議員は、公職選挙法の規定により年賀状を送ることが禁止されているため、本紙面上をもって年頭のごあいさつとさせていただきます。

# 11月臨時会・12月定例会で 次の案件が提出されました。

11月臨時会 ● 会期：11月30日

11月臨時会は、11月30日に開会し、1日間の会期で開催されました。本臨時会では、市長から専決処分報告2件があり、「ひたちなか市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」の議案1件が提出され、原案のとおり可決しました。

12月定例会 ● 会期：12月3日～12月17日

## 今回の審議件数は

- 議案：16件 (原案可決14件 同意2件)
- 諮問：2件 (同意2件)
- 請願：1件 (9ページを参照)
- 陳情：3件 (9ページを参照)
- 計：22件

今号では  
この中から  
3つを左に  
掲載します。

○案件名と結果の詳細はひたちなか市ホームページをご覧ください。

〈議案第121号〉 令和2年度ひたちなか市一般会計補正予算(第7号)

『プレミアム付地域商品券発行事業補助金』  
売上減少が著しい中小・小規模事業者および個人事業主が経営する店舗での利用促進を図るため、例年秋に実施しているプレミアム付商品券の発行事業を春に前倒しして実施します。

『「ひたちなかで食べよう」応援補助金』  
テイクアウト&デリバリー、店内飲食も対象とした1人当たり10000円以上ご利用の方に対し、500円割引の補助をします(1事業所当たり上限30万円)。

『奨学金返還支援金の増額』  
奨学金返還支援補助事業(前年度に返済した額の2分の1/上限10万円を最大8年間補助)について、申請者増に対応するためその経費を増額します。



## 質問者



# 一般質問

市の事業などについて、  
執行状況または将来の方針、  
課題などを議員が直接質問しました。

- ① 大内 健寿 議員
- ② 宇田 貴子 議員
- ③ 加藤 恭子 議員
- ④ 山田 恵子 議員
- ⑤ 海野 富男 議員
- ⑥ 樋之口英嗣 議員
- ⑦ 清水 立雄 議員
- ⑧ 井坂 涼子 議員
- ⑨ 大内 聖仁 議員
- ⑩ 大久保清美 議員
- ⑪ 鈴木 道生 議員
- ⑫ 井坂 章 議員

質問議員本人が選定した2問を掲載しております。なお掲載は登壇の順となっております。

市ホームページで議会録画映像の配信や会議録の検索により一般質問などの詳しい内容もご覧になれます。  
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>

**市長** 目指すべき市街地像として、既存集落部分は良好な集落環境を極力保全し、新たに、レクリエーションリゾート機能を支える「観光商業地」や、企業立地に対応した「良質な住宅地」としての機能集積を図っていく。

**建設部長** 昨年10月に区画整理事業計画見直し完了し、来年度より公共下水道整備計画に基づき、詳細設計および関係機関との調整後、区画整理事業の進捗に合わせ、順次下水道工事を進めていく。

**問** 阿字ヶ浦小・中学校が統廃合となり、廃校跡地が土地区画整理地内の中心にある事業になつてしまった阿字ヶ浦区画整理事業。目指すべき市街地像、下水道の整備について伺う。

● **阿字ヶ浦土地区画整理事業について**



① 大内 健寿 議員



**副市長** 自治会加入世帯数は減少しており、昨年度行った調査では、加入率は、加入対象世帯の約8割であった。自治会の意義や加入のメリットを伝えるため、昨年度、自治会活動ガイドブックおよび要約版となるミニガイドを作成している。また、インターネットからも自治会に関する問い合わせや加入手続きができるようQRコードを掲載し、効率的に加入手続きができるようにした。

**問** 自治会加入率は、減少傾向が続いており、この状況を喫緊の課題として捉える必要がある。少子高齢化の到来を迎え、地域コミュニティの重要性が再確認されている。自治会加入率の推移、加入促進の取り組みについて伺う。

● **地域コミュニティの要、自治会について**



那珂湊漁港のサンマ水揚げ風景

### ●汚染水の海洋放出には断固反対すべき

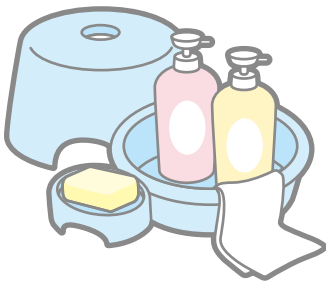
**問** 東京電力福島第一原発事故によりたまり続ける高濃度トリチウム汚染水を海洋放出する政府方針は、漁業関係者に新たな困難を強いることになる。市は反対の意思表明をすべきと思うが、いかがか。

**市長** これまでも漁業関係者が福島第一原発の事故により、長期的な風評に伴う出荷自主規制などの被害を被っていることを国は十分認識すべきであるという考えのもと、漁業者、消費者や国際世論への丁寧な説明を行ったうえで、国に考え得る十分な対策を行うよう要望していく。処理水の処分に当たっては、国の責任において具体的な対応を判断・実施すべき案件であると考えている。

### ●お風呂の廃止は高齢者福祉の後退では

**問** 市は6力所ある老人福祉センターの入浴施設を今年度で全て廃止する方針だが、楽しみに通っていた方、必要な方がいる。廃止に至る判断と今後高齢者福祉をどう充実させるのか、市長の考えを伺う。

**市長** これからの福祉サービスは、時代の流れや市民ニーズの変化などに適応させながら変えて行くべきもので、本市においても高齢者福祉全体を見直すべき時期が来ている。増え続ける高齢者が今後も安心して生活できるように、何が必要なのか、課題は何かなど、今後多くの高齢者の声に耳を傾けながら、積極的に新たな高齢者施策を提案し反映させていくので、ご理解いただきたい。



### ●SDGs達成に向けた取り組みは

**問** 持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年の達成期限まで10年となった。全庁的な推進組織の設置や企業との連携など、本市としての様な取り組みをしていくのか伺う。

**市長** SDGsの最終年まで10年という節目の年に、本市においても総合計画後期基本計画の策定を進めている。本計画の新たな視点の1つとして「SDGsを活用したまちづくり」という観点を位置づけ、この中で「SDGsを活用して、さまざまな分野の課題に対して組織横断的な解決に向けて取り組む」などを明記した。また、先進的にSDGsに取り組んでいる団体や企業の把握に努めるとともに、多様なステークホルダー【※1】と連携したSDGs推進体制について検討していく。



市民ホールに設置されたサーマルカメラ

### ●「新しい生活様式」を促す取り組みについて

**問** ウィズコロナ時代において新たな生活習慣を定着させるための工夫や対策が求められる。手間や費用を抑え、高い効果を上げる「ナッジ【※2】」の活用を積極的に導入していくべきと考えるが、いかがか。

**総務部長** 現在本庁舎については、感染防止対策として、消毒液やサーマルカメラの設置、各トイレの洗面台に手の洗い方や咳エチケットの貼紙の掲示などを行っている。今後、さらなる感染防止を図るため、「ナッジ」を活用した自治体や民間の事例などを参考にしながら、消毒液までの矢印誘導や感謝のメッセージを添えるなどの工夫に取り組み、「新しい生活様式」の普及・定着に努めていく。

◀次ページに続く

### ●ひたちなか大洗リゾート構想について

**問** 本県の令和元年の観光入込客数の第1位は大洗町の44.1万人、続いて第2位はひたちなか市の43.6万人である。今後、本構想における取り組みにより、さらなる発展が期待されるが、現在と今後の取り組みについて伺う。

**経済環境部長** 本構想における取り組みについて、県および2市町の各関係機関の管理職を中心として組織された幹事会における検討を踏まえ、誘客・周遊を促す「情報発信」、2市町間の「交通アクセスの向上」および「観光消費額の向上」という3つの分野を重点テーマとし、本格的に事業に着手している。来年度以降についてはPDC Aサイクルにより適宜取り組み内容の見直しを行っていく。



### ●本市の米の水田営農支援策について

**問** 新型コロナウイルス禍による消費減により、農水省は2021年産米の需給均衡には、過去最大規模の転作が必要だとした。本市の21年産米生産量の目安および転作目標面積の提示時期について伺う。

**経済環境部長** 例年3月に各生産者に送付する「営農計画書」により生産数量の目安や、転作目標面積をお知らせしている。しかしながら、本年度は、国から周知される作付け転換面積の公表が早まったため、各生産者が早期に「営農計画書」を作成出来るよう、発送作業を1カ月程度前倒しし、2月中に行う予定で現在、発送作業を進めている。



特裁特選ふくまるの刈取り風景

### ●学校の携帯電話の使用および基本方針について

**問** 携帯電話の学校持ち込みは、原則禁止であるが、校長の判断で例外的な持ち込みも認められている。携帯電話の持ち込みを許可されている児童生徒の人数とその理由について伺う。

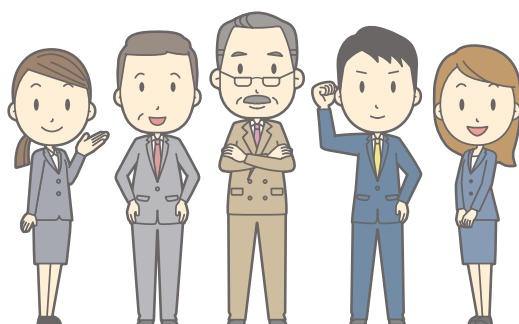
**教育長** 携帯電話の持ち込みが許可されている人数については、現在、小学校では158名、中学校では11名、合計169名となっている。持ち込みの理由については、小学校では157名が登下校の安全のため、1名は健康上の理由から携帯電話を持参している。中学校では3名が登下校の安全のため、7名が遠距離通学のため、1名が公共交通機関を利用しているため携帯電話を持参している。



### ●田彦西地区の公園について

**問** 本年3月定例会において可決された田彦西地区の公園について、オープンまでのタイムスケジュールを伺う。

**都市整備部長** 今年度用地を取得し、来年度整備を行う計画としている。用地購入後の整備スケジュールとしては、地域の皆さまに愛される公園づくりを旨とし、公園の整備の内容について地元自治会などと協議を進めていき、その後、来年度夏ごろを目処に設計を完了し、令和3年度中の完成を目指し整備を進めていく。



### ●企業などの誘致について

**問** 当市の将来を決定づける重要な要素、企業などの誘致について市長の考え方を伺う。

**市長** 本市では、地理的優位性を活かした企業立地を推進し、雇用の場の創出や拡大に積極的に取り組んできた。今後の経済情勢や企業の動向などを注視しながら、本市の優れた産業流通インフラや魅力的な立地環境をPRし、港湾の活用促進や、関連企業の立地につながる裾野の広い産業基盤を形成できるように、引き続き企業誘致活動に取り組んでいく。





### ● コロナ重症患者受け入れは大丈夫か

**問** 新型コロナウイルス感染症患者の増加が止まらない。医療従事者が疲弊している中、市民に重症患者が発生した場合、受け入れ体制は問題ないか。

**福祉部長** 感染症専用病床の確保は県が広域的に対応している。感染状況や入院患者数を踏まえ、必要な病床数の確保と症状に応じた入院調整に努めており、今般の第3波を受け、県内の病床を拡充し、重症者用についても増床しているところである。本市において重症患者が発生した場合は、県の入院調整本部で症状やその時点の病床稼働状況に応じて県内全域で調整を行っていく。

### ● 地球温暖化対策について

**問** 世界中で異常気象が続く中、我が国は、2050年までに国内の温室効果ガス排出実質ゼロ目標を掲げた。極めて高い削減目標が求められると考えるが、本市における積極的な取り組みについて伺う。

**経済環境部長** 市としては、第3次環境基本計画を、新しい温室効果ガスの排出削減目標値をもとに策定していきたい。新計画で設定する削減目標値は、市民全体に関わる大きな目標となることから、策定後には多くの方に内容を理解いただくため、各家庭や事業所などに対し、市報などによる広報に加え、各役割や削減目標値などを直接説明する出前講座を開催するなど、さまざまな機会を利用して周知啓発を図っていく。



### ● 児童生徒の携行品の見直しについて

**問** ランドセルの重量軽減についてはこれまでも議論されてきたが、携行品についても子どもたちへの負担軽減を目的に、体育の授業日には体操服通学を認めるなど、検討してはどうか。

**教育長** 学校長の判断により、児童は私服で登下校し、体育の時間や汚れが心配な活動の際は、場面や状況に応じた体操服に着替えることが慣例となっており、時と場に応じた服装で学校生活を送っている。遠足や宿泊学習など学校行事がある日は、体操服で登下校し、1日を過ごす場合もある。体操服での通学については、各学校で実態やニーズに応じた柔軟な対応ができるよう助言していきたい。

### ● 学校現場でのデジタル化について

**問** コロナ禍での対策など、教育現場においても業務負担が増す状況となっているが、GIGAスクール構想の実践と併せて、デジタル化を推進して欠席連絡や押印・配布資料などの簡略化を図ってはどうか。

**教育長** 本年4月に導入した「統合型校務支援システム【※3】」に保護者からの欠席連絡などができる双方向通信機能が来年度中に追加される予定であり、欠席報告や相互連絡など利便性の向上が図られる。また、押印廃止やペーパーレス化、教職員の負担軽減などを踏まえ、保護者宛て文書のPDF配信など、「新しい生活様式」の観点からも学校におけるデジタル化を進めていく。



### ● サイクリストのためのサイクリングロードを

**問** 走りやすいサイクリングロードの早期完成や、サイクリストのために、より適切な市道の管理を行うよう、土木費の予算拡充を要望する。そこで、大洗・ひたち海浜シーサイドロードの完成までの予定を問う。

**経済環境部長** 茨城県および本ルート沿線の7市町村などを構成員とする「大洗・ひたち海浜シーサイドルート活用推進協議会」において、プロモーション動画や、サイクリングマップの作成、市町村の見どころを巡る支線モデルコースの策定など、先行して整備されている「つくば霞ヶ浦りんりんロード」における取り組みを踏まえ、事業を実施していく予定である。

◀次ページに続く

⑨ 大内 聖仁 議員

### ●時代の变化に合わせた保存樹の在り方を

**問** 保存樹を自治体によっては観光ツアーに組み入れるなど、観光資源にしている地域もある。時代の変化に合わせた管理体制を構築するべきである。そこで、保存樹に対する市の考えを問う。



堀口公園内の保存樹木

**都市整備部長** 市としては、緑につつまれた良好な環境を形成するために、保存樹木制度を継続していきたいと考えている。しかしながら、都市化の進展とともに大木である保存樹木の維持管理が困難になっており、保存樹木は減る一方となっているため、所有者に対し、管理の実態や問題点などに関する聞き取り調査を行い、市の支援策を含め、今後の保存樹木制度の在り方について検討していく。

⑩ 大久保 清美 議員

### ●原子力所在地域首长懇談会について



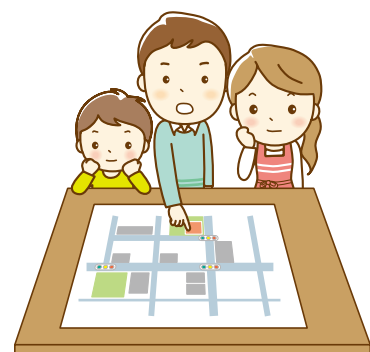
**問** 最近、県が「原子力広報いばらき」第1号を発行し、原電が状況説明会を開催するなど、東海第二原発を巡る動きが活発になってきた。その中で開かれた今年度第一回目の懇談会の内容を問う。

**市長** 懇談会は、新安全協定に基づく対応をしていく中で、東海第二原発の安全性向上対策工事の状況で、6市村の協議が決定した時期で現地確認していく必要があるとの認識で一致した。また、新安全協定に基づく事前説明があった場合においても、懇談会が主導権を持って一連のプロセスに対応していく。また、広域避難計画の策定においても実効性の確保には大変苦慮しているため、情報共有を図った。

### ●避難計画策定の現状と課題について

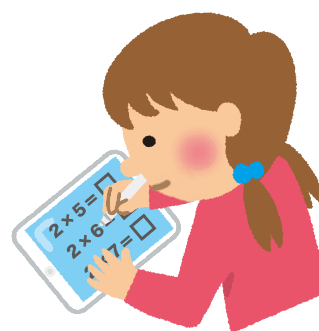
**問** 国の「原子力災害対策指針」はUPZ圏内の住民の屋内避難を原則としている。しかしそれは被ばくの可能性を伴う。「指針」を基本として策定しなければならぬ広域避難計画の現状と課題を問う。

**副市長** UPZ圏内の人口をはじめ、災害弱者への支援、移動手段の確保、複合災害や流行下感染症への対応など、実効性ある計画にするためには、検討すべき課題が山積している。国・県とこれら課題を共有し検討を進めている。まずは、広域避難計画の基本方針についてしっかりと市民の皆さまに情報提供をし、より多くの方に理解していただくことが重要と考えているため、周知に努めていく。



⑪ 鈴木 道生 議員

### ●GIGAスクールの市内実施は



**問** GIGAスクール構想の整備が進むが、支援・研修体制など課題も多い。本市において今後どのように実施するのか。全校一斉もしくは徐々に広げるかなど、市内での今後の実施方法と予定を問う。

**教育長** 今後、教育委員会内に「ICT教育に係る推進委員会」を新たに発足させ、茨城工業専門学校やICTの専門家に助言をいただきながら、組織的・計画的にICT推進を図っていく。学習支援でICTが使えるソフトを全ての教員に活用できるように今年度中に研修を進め、令和3年度からモデル校が先進的に進めて市内の小中学校に広めていく形をとっていきたい。

### ●スマートシティ【※4】推進について

**問** 行政や民間が各種サービスで蓄積したデータを、個人情報保護しながら、地域での移動問題や健康、観光などさまざまな分野で活用していく取り組みが全国で行われているが、本市も推進をするのか問う。

**企画部長** 総合計画後期基本計画の個別施策の取り組み方針において、「Society 5.0【※5】」時代の持続可能な地域社会への対応に向けた取り組みの推進を位置づけようとしており、本市の今後の基本的な考え方は、スマートシティの構想と同じ方向性であると考えている。財政面や安全面も含め、スマートシティという概念をどう位置づけるか、民間を含めた協議体制の在り方などと併せて、調査・検討を進めていく。





## ● 教職員の多忙化と解消の取り組みについて

**問** 日本の教員は「世界で一番忙しい」と言われている。「コロナ禍で子ども向き合うことなど、今まで以上に仕事が増えているが、在校時間などを減らす取り組みと負担軽減の対策を伺う。

**教育長** 本年度より導入した統合型校務支援システムの活用で、成績表の作成時間の短縮や校務処理の短縮が図られるなど一定の効果が見られている。今後さらに保護者や地域などに学校の負担軽減に向けた協力を周知するなど取り組んでいく。また、すべての小中学校に導入した出勤記録システムにより、長時間勤務の削減、教職員の意識改革などが図られ、働き方の改善に効果が表れてきている。

## ● 老人福祉サービスについて

**問** 老人福祉センターのサービスのうち、6カ所にある入浴のサービスを来年3月で廃止する案は反対。高齢福祉政策としても問題がある。拠点になる2カ所は残し、利用者の期待に応えるべき。

**福祉部長** 老人福祉センターの事業見直しを行ったところ、利用者数の大幅減少と各施設の老朽化が著しく、多くの修繕費や維持費を要していることなどが課題となっている。民間入浴施設の立地、利用者数や費用対効果、公平性などを踏まえて検討した結果、廃止させていただくことを予定している。今後も限られた財源を有効かつ公平に活用して高齢者福祉のさらなる充実に努めていきたい。



## 用語解説

P4【※1】  
ステークホルダー

企業や行政、NPOなどの組織が行う活動により、さまざまな影響を受ける利害関係者のこと。

P4【※2】  
ナッジ

「ひじで軽く突く」「そっと後押しする」という意味の英語。行動経済学や行動科学分野において、人々が強制によってではなく自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語。

P6・8【※3】

統合型校務支援システム

「教務系（成績処理、出欠管理、時数管理など）・保健系（健康診断票、保健室来室管理など）、学籍系（指導要録など）、学校事務系など統合した機能を有しているシステム」を指し、成績処理などだけでなく、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステム。



P7【※4】  
スマートシティ

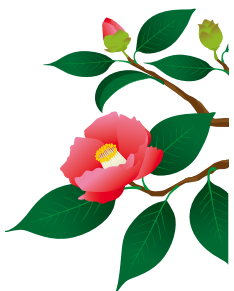
今号においては、都市の抱える諸課題に対して、ICTなどの新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営など）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区のこと。



P7【※5】

Society 5.0

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会のこと。サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会のこと。



## 11月臨時会

### 議案に対する討論

#### ● 反対

ひたちなか市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について、コロナ禍で、保健・福祉の分野や学校などで働く職員は、住民の命と健康を守る先頭に立って働いており、地域住民の社会生活や経済活動を支えていることから、一般職員の一時金削減はすべきではない。  
以上、反対討論とする。

討論  
debate

11月臨時会、12月定例会の議案について、採決に先立ち次のような討論が行われました。



議案に対する討論

● 反対

令和2年度ひたちなか市一般会計補正予算(第7号)について、コロナ対策に係る予算は市民生活の安心と地域経済を応援するものであるが、「ひたちなかに泊まる」応援補助金は、実施されれば大きな経済効果が見込まれるが、感染拡大が止まらない中、安全に実施できるかわからないため、宿泊事業者の苦境を考えれば、今必要なのは、直接支援であると考え

る。コロナ対策以外については、いずれも本市にとって必要な事業などの予算措置であるが、マイナンバー関連経費は、マイナンバー制度を推進するものであり、システムトラブルや情報漏えいなどが危惧されるマイナンバーの活用の推進については慎重になるべきである。

以上、反対討論とする。



人事

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に、岡本 修氏を任命することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任同意

固定資産評価審査委員会委員に、小野 修氏を選任することに同意しました。

人権擁護委員の候補者推薦同意

人権擁護委員の候補者に、宇留野 騎一郎氏、櫻井 理順氏を推薦することに同意しました。

請願・陳情

請願と陳情は審査の結果、次のとおりとなりました。

採択となったもの

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求めることについて

継続審査となったもの

- ▽道の駅構想の推進に関することについて
- ▽気候変動対策に関することについて
- ▽「乗り合いタクシー方式」(デマンド型交通システム)を取り入れることを求めることについて

意見書

「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書」を内閣総理大臣ほか5機関へ提出しました。

措置内容

- 1 計画的な教職員定数改善により、少人数学級を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

閉会中の常任委員会活動

総務生活委員会

○10月16日

感染症対策を踏まえた避難所開設訓練実施の結果について、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

文教福祉委員会

○10月15日

阿字ヶ浦小学校において、学校におけるICT環境の整備について、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

経済建設委員会

○10月16日

六ッ野公園旧グラウンド宅地造成事業、東石川高野線および東石川六ッ野線の整備状況について、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

○11月10日

上坪浄水場更新工事整備状況について、現地調査を行い、執行部から説明を受け、質疑を行いました。

委員会構成の変更

本市議会の常任委員会中、予算委員会および決算委員会の構成が次のとおり変更となりました。

令和2年12月1日

常任委員会	常任委員名	委員定数
予算委員会	◎井坂 章 井坂 涼子 大内 健寿 大内 聖仁 三瓶 武 武藤 猛 ○萩原 健 宇田 貴子 弓削 仁一 雨澤 正 清水 立雄 打越 浩	12人
決算委員会	◎海野 富男 山形由美子 清水 健司 鈴木 道生 加藤 恭子 大谷 隆 ○山田 恵子 北原 祐二 大久保清美 薄井 宏安 深谷 寿一 樋之口英嗣	12人

◎委員長 ○副委員長



# 市民のこえ

hitachinaka

愛媛県から

茨城県ひたちなか市へ

田彦

南 邦子さん

去年、娘の住むひたちなか市へ愛媛から越して来ました。大空のもと広々とした大地に清らかなブルーのネモフィラが咲き誇る海浜公園の景色は感動でした。この地で何かお役に立てることはないかと思っていた時、和紙ちぎり絵の講習の依頼をいただき喜んでお受けしました。田彦コミュニティまつりでは4人の生徒とちぎり絵の作品を展示しました。これからもこのひたちなか市で楽しく暮らしていきます。



廃線危機を乗り越えて

阿字ヶ浦町

大内 秀一さん

13年前に『おらが湊鐵道応援団』が発足されました。当時廃線危機にあった湊線を存続させようと結成された団体です。私も沿線をイメージした『季節の風』楽曲を書き応援団に参加しました。応援団音楽部として那珂湊駅舎で唄い始め、毎週、道ゆく人、旅ゆく人に音楽でメッセージを送っています。近い将来、阿字ヶ浦駅から海浜公園まで延伸の予定です。今後も歌って湊線を応援していきます。



## 次回3月定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23	24	25	26	27
	議願・陳情締切り 正午		定例会告示 議会運営委員会			
28	3/1	2	3	4	5	6
			本会議 (開会)	本会議 (午後1時開議)		
7	8	9	10	11	12	13
	(議案調査)	(議案調査)	(議案調査)	本会議 (代表質問)	本会議 (代表質問、一般質問)	
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 (一般質問、議案採決)	本会議 (予備日)	予算委員会	予算委員会	予算委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	予算委員会	予算委員会 (予備日)	3常任委員会	(事務整理)	本会議 (閉会)	

## 議会を傍聴しませんか

本会議は、当日受付で、住所・氏名・年齢を記入するだけで簡単に傍聴することができます。ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

(273-0111内線4211)

本会議の開始時間は、午前10時です。

(日程が変更になる場合もあります)

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、感染症対策などをお願いする場合があります。

ひたちなか市議会/ひたちなか市公式ホームページ

<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/shisei/9728.html>



編集手帳

新年初めての議会だよりをお届けします。

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、皆さまにおかれましては、不安やストレスを感じられながらの日々を過ごされていることと存じます。一日も早い収束と経済の回復、安心して生活できる平穏な日常生活が戻ることを願うばかりです。3密を避け、感染症防止対策をしっかりと行い、くれぐれもご自愛のうえお過ごしください。

今後も皆さまと議会をつなぐわかりやすい紙面づくりを目指して、広報委員一同取り組んでまいります。

(萩原 健 記)



再生紙と植物油インキを使用しています。